

## 【助成施設訪問】 東戸塚かもめ第4保育園

神奈川県横浜市戸塚区にある〈東戸塚かもめ第4保育園〉には総額約50万円を助成。同園は助成金で打楽器セットやままごとセット、ウレタン製の大型積み木などの玩具を購入した。

横浜市戸塚区にある〈東戸塚かもめ第4保育園〉は、NPO法人かもめが設置する4つの保育所のうち、4番目に設置された小規模保育所で、2021年4月に開園した。

同園は、横浜市の中心地であるJR横浜駅から横須賀線で2駅の東戸塚駅・徒歩3分にある。東戸塚駅は、横浜のほか、東京駅や品川、新宿など、都心へのアクセスが良いため、駅周辺は大規模マンションが建ち並び子育て世帯が多く暮らしている。そのため待機児童も多い。

同園を運営するNPO法人かもめの竹山茂理理事長は、これまでの経緯を「2016年に〈東戸塚かもめ保育園〉を開園し、その後、2020年に第2保育園、第3保育園を開園しました。第4保育園の開園で0歳から2歳、合計60人の子どもを預かることができるようになりました。地域の待機児童解消の一翼を担うことができます」と語る。

竹山理事長は保育所を運営する過程で、小規模保育所ならではの課題に直面したという。「4つのかもめ保育園に通う子どもたちは、3歳になると連携している地域の保育所に進級します。その際、子どもの中に集団生活に不慣れな子がいて、連携園の下級からあがった3歳児と馴染めないことがありました」

そうした課題を解決するには、かもめ保育園にいる0〜2歳のうちから保育に集団生活をとり入れる必要がある。そこで同法人は、半径30メートルの距離に保育所を4つ開園し、各

園の子どもたちをできるだけ一緒に保育することで、集団生活の意識を育むことにした。

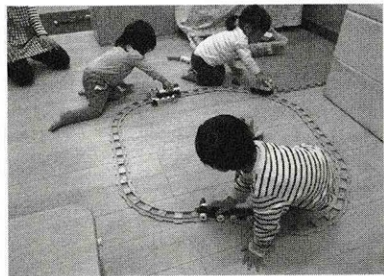
「集団生活の意識を育むには大事なことがあります。たとえば、共通の目的をもつこと、豊かな感性と表現を養うこと、ルールを理解すること、考える力を持つこと、数量・図形や標識・文字などへの関心を持つこと、言葉で伝え合うことなどです」と竹山理事長。

そうした意識を育むのに役に立つ、打楽器セットやままごとセット、プログラミングトレインセット、ウレタン製の大型積み木などの玩具を今回の助成対象とした。

「子どもにとって保育所は小さな社会です。4つの園で合同保育を行うことでその社会が少し大きくなり、子どもたちは社会の一員として、一層の社会性が求められるようになります。そして、子どもたちはその社会性を遊びを通して心や身体を発育させながら身につけていきます。その遊びに影響を与えるのが玩具や遊具です。今回の助成で遊びの幅が広がり、多くの体験を通して子どもたちは社会性を養っていくと思います」(文 佐藤修久/地人館)



大型の積み木で遊ぶ子どもたち クッション性のある大型積み木は、小さな子どもでも怪我の心配がなく安全に遊ぶことができる。子どもたちは積み木の上に乗ってバランスをとることで、全身の筋力を使い、体幹が鍛えられる。



プログラミングトレインで遊ぶ子どもたち モーターが内蔵された列車を押しレールの上を走らせる。レールや駅、建物などのパーツを協力して組み立てることでコミュニケーション能力が高まることが期待される。



左から、NPO法人かもめの竹山茂理理事長、櫻井孝代統括園長。

【東戸塚かもめ第4保育園】  
神奈川県横浜市戸塚区。NPO法人かもめが設置する小規模保育所。0〜2歳の15人が通う(2022年4月現在)。